

白鳥北部地域おこし協力隊活動内容

1. 郡上市白鳥町北部地区の活性化

本地域は、自然環境を活かした観光地が多くあり、白山文化の里として歴史ある地域である。このため、ハイシーズンには多くの観光客が訪れている。

また、郡上市白鳥町の長滝地区の道の駅「白鳥」区域内に、水産業の活性化及び後継者育成を目的に、「清流長良川あゆパーク」を岐阜県が整備し平成30年6月から供用開始となる。同時に道の駅「白鳥」も改築し、周辺地域の農産物及び特産物販売所を整備し「清流長良川あゆパーク」と同時期の供用開始となる。本道の駅は、年間平均40万人と多くの観光客が立ち寄る地域の拠点施設となっており、郡上市白鳥ICから10分程度と利便性が高く、都市交流事業の可能性が大きく広がっている。

本地域の白山長滝公園を白鳥北部地域の振興拠点と位置づけ、白山信仰における歴史的遺産と自然を活かした観光資源を活用し、認知度を高め、交流人口の増加を図る目的であり、重要な任務となる。

(支援事項)

① 地域活性化活動支援

(1) 現状分析と課題整理への協力

- ・地域の観光資源、歴史文化及びイベントの把握
- ・アンケート調査及び聞き取り調査
- ・強み、弱みの分析による活性化活動に必要な課題の整理

(2) 活性化戦略の樹立への協力

- ・コンセプトの設定及び誘客ターゲットの絞り込み
- ・活性化施策の設定(計画づくり)
- ・観光案内機能の強化
- ・集客力、販売力の強化
- ・観光資源、歴史文化のPR方法

(3) 推進体制の強化、広報活動への協力

- ・関係団体による具体的な取組体制の確立と実践
- ・広報活動